

技術指導ができない顧問がいること	96.0
部員の技術が高まること	96.0
練習の効率が上がること	95.2
指導方法が多様になること	93.6
部員を上達させてあげたいと思うこと	92.8
競技の手法を見せてもらえること	92.7
部員を見る目が複数になること	91.6
部員への刺激になること	91.5
練習方法が増えること	90.2
顧問が外部指導者から、指導方法を学べること	88.8
部員の意欲が高まること	87.1
顧問が助かること	86.7
競技への情熱を伝えてもらえること	85.2
顧問が他の学校に異動しても、指導レベルが保たれること	83.1
指導する人数が増えること	82.4
地域の人材を活用できること	80.7
顧問の負担が軽くなること	80.3
専門的な指導が受けられず、部員がかわいそうだと思うこと	78.7
部員が教員以外の大人に接することができること	77.1
教員が忙しいこと	76.2
顧問になれる教員がないこと	75.5
学校が外部指導者活用について肯定的なこと	74.6
外部指導者の指導には説得力があること	73.5
安全性が高まること	72.8
部員の自信が高まること	72.3
部活動場面に限定して、部員の成長を見られること	72.0
負傷者が出たときに対応しやすいこと	71.9
外部指導者の人脈を活用できること	70.8
部活動の雰囲気が増えること	69.0
部員の精神面に良い影響があること	67.9
技術指導できない顧問に対する、部員の不満があること	67.1
外部指導者（他者）に対するの礼儀を、顧問が指導しやすいこと	66.7
地域とのつながりが生まれること	64.1
謝礼金を出してくれる制度があること	60.6
謝礼金があることで、外部指導者に依頼しやすいこと	59.7
顧問が技術指導以外に時間を使えること	58.6
マナーを指導してもらえること	53.0
外部指導者を斡旋してくれる制度があること	51.8
謝礼金を出す制度が拡充して、採用可能人数が増えること	51.0
紹介してくれる人がいること	47.8
教員が異動した先に外部指導者がいてくれると、部活動に馴染みやすいこと	45.0
部員に顧問の期待が伝わること	44.2
顧問が外部指導者から、部員への接し方を学べること	39.8
外部指導者という存在そのものに、新鮮さがあること	38.0
顧問が休めること	36.9
外部指導者と顧問との対人コミュニケーションを、部員に見せることができること	32.8
顧問よりも外部指導者が、部員に近い存在になれること	27.2
顧問が競技について学ばなくてもよいこと	21.1
顧問と保護者の橋渡しをしてもらえること	14.5
外部指導者を紹介してくれるような親戚とのつながりが強いこと	9.4

